

【戦うオヤジの応援団 2015 年度活動計画と予算計画】

2015 年度も、基本的に 2014 年度の活動計画と同じように現状維持を目指した活動となるため、多くは昨年度の繰り返しとなってしまいますが、以下の方向性で活動をおこなってまいります。

- ・当会は、任意団体としての「戦うオヤジの応援団」と、NPO 法人としての「アコースティックギターローカルネットワーク」という 2 つの側面を持っています。音楽という同じ趣味を持つ登録メンバー同士が交流するために各地の SP で実施している練習会や交流会の場合は、より自由な任意団体として活動しているものです。一方で、NPO 法人としての活動は、メンバーの有志が地元の公共団体や各種 NPO 団体と協力して音楽という手段を通じて地域の活性化や高齢化対策活動に参加する場合で、所属団体の信用が要求されるような場合に効果的となります。
- ・現在、事務局では任意団体として個人メンバーと SP 活動のネットワークを維持することを目的とした業務を主に行っています。しかし、数年後には登録会員の皆さんの多くが企業を退職し、音楽を通じて地域でいろんな公的な活動に参加する機会が増えることが予想されます。その場合、複数の仲間と参加することが多くなると思われますので、地域での活動主体となる SP の対外的活動を促進するために必要な手段やものを用意できるような事務局の態勢作りを検討する必要があると考えています。
- ・現状では正会員の皆さんからの年会費で家賃など事務所維持に必要な経費を賄い、事務局を担当している者が事務所近くの会社に定年後も継続して勤務しつつ、午後の時間にボランティアとして事務所に来て事務作業を行っているため、会として交通費の負担は行っていません。しかし、継続雇用が終わった時点で年間 25 万円近くの交通費負担が発生するようになるため、4 年以内に現在の事務所を維持することは予算的に無理になると思われまます。その時点で事務所の移転や廃止等を検討しても間に合うのですが、官庁を相手にした NPO 法人の登記変更などの手続きには時間と手間がかかるため、今後の応援団事務局の役割を検討した上で、NPO 法人の登記住所を自宅に変更することを検討すると共に、自宅を事務所にした場合に支出の大半を占めている家賃が不要となるため、年間 3000 円の年会費を大幅に減額することや、年会費をいただく正会員制度自体を廃止することも含めて、数年以内に皆さんに提案させていただきたいと考えています。

■予算計画（別紙報告書の解説）

- ・2014 年度の正会員数は、300 名の目標に対し 314 名とほぼ目標通りの数を確保することができました。しかし、最近では正会員の皆さんにメールで案内を行っても継続していただけない割合が増える傾向にあります。これは、事務局として会員向けの新たな活動が停滞していることや、スマホや携帯の普及によってパソコンからの一斉メールが受信拒否され、メールマガジンが届いていないケースが増えている事などが考えられますが、まずは、事務局を維持するための予算を確保する必要がありますので、2015 年度の正会員数の目標は 2014 年度同様 300 名として予算を組んでいます。同時に、法人賛助会員の数も減少することが危惧されますが、昨年同様の 8 社を目標として予算作成を行っています。
- ・2015 年度も、これまで同様に無駄な出費を抑えながら戦うオヤジの応援団継続に必要な最低限の事務作業を維持できるようにしたいと思いますが、予算規模が小さく、削減努力が可能な出費項目もほぼ無くなってきていますので、収入の減少状況に応じて家賃の値下げ交渉の可能性を検討することで、事務所の移転など戦うオヤジの応援団及び事務局の運営体制の変化が必要となった場合に対応できるように、50 万円程度の繰り越し利益を確保しておきたいと思っています。